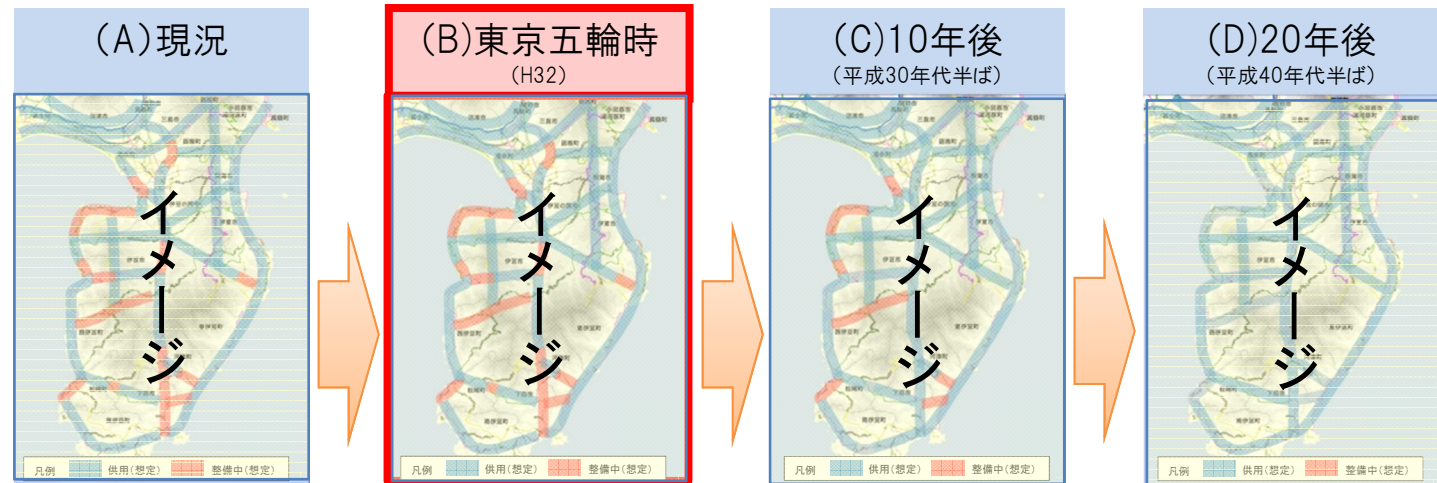


《検討条件》

- (A)現況、(B)東京五輪時、(C)10年後(平成30年代半ば)、(D)20年後(平成40年代半ば)の4段階で取りまとめる。
 - 対象は国道、県道を基本とする。必要に応じて幹線市町道や広域農道等も対象とする。
- (注)「伊豆地域の道路整備のあり方」(H24.8)、「ふじのくにの“みちづくり”」(H25.7)の考え方を基本とする。

《道路ネットワーク図(案)》



《概要》

(A)	(B)	(C)	(D)
現況(平成27年度末)	五輪開催時のネットワーク	伊豆縦貫自動車道概成時のネットワーク	伊豆縦貫自動車道完成時のネットワーク

《実施計画(主要となる事業)》

	(A)⇒(B)	(B)⇒(C)	(C)⇒(D)
背骨 (伊豆縦貫自動車道等)	<ul style="list-style-type: none"> ・伊豆縦貫自動車道 天城北道路 (国) ・(国)136号 江間改築 (県, 公社) 	<ul style="list-style-type: none"> ・伊豆縦貫自動車道 ●●道路 (国) 	<ul style="list-style-type: none"> ・伊豆縦貫自動車道 ◎◎道路 (国)
肋骨 (その他の国県道等)	<ul style="list-style-type: none"> ・(国)136号 土肥拡幅 (県) ・(国)136号 下船原バイパス (県) ・(県)熱海大仁線 (県) 	<ul style="list-style-type: none"> ・(国) △△線 (県) ・(市) ▲▲線 (▲▲市) 	<ul style="list-style-type: none"> ・(国) ××線 (県) ・(県) ◆◆線 (県) ・(農) □□線 (県)

(注) 供用時期等は、伊豆半島道路ネットワーク会議で想定したもの。